

2025年1月23日
楽待株式会社

能登半島地震義援金、能登半島大雨災害義援金に 「チャリボン」を通じた寄付を実施

本を通じた寄付事業「チャリボン」に、楽待の社内図書館の書籍487冊を寄付

本リリースのポイント

- ・楽待では、株式会社バリューブックスが提供する「チャリボン」を通じて令和6年能登半島地震義援金、令和6年9月能登半島大雨災害義援金に寄付を実施
- ・「チャリボン」を通じての寄付活動は2019年から継続して実施している
- ・2024年は社内図書館の書籍487冊分、買取金額98,168円を寄付



当社の図書購入支援制度を活用し、社員は業務に関する書籍を会社負担で購入することができます

国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」 (<https://www.rakumachi.jp/>) を運営する楽待株式会社（本社：東京都中央区、東証スタンダード、証券コード：6037）は、株式会社バリューブックスが提供する「チャリボン」の活動に参加し、「令和6年能登半島地震義援金」「令和6年9月能登半島大雨災害義援金」に寄付いたしましたことをお知らせします。

今回の寄付内容

[「チャリボン」](#)とは、不要になった本などを寄贈し、その買い取り金額を寄付することで、さまざまな分野で社会的な課題に取り組んでいるNPO・NGO団体の支援を行うことができる活動です。当社では2019年から「チャリボン」を通じて寄付活動を実施しており、今回は下記の通り寄付をいたしました。

寄付先：令和6年能登半島地震義援金、令和6年9月能登半島大雨災害義援金

寄付内容：書籍の買取点数487冊、計98,168円を寄付

当社では社員の能力向上のため、書籍の購入費用を会社が負担する図書購入支援制度を設けており、毎年多くの書籍を購入しています。読み終えた紙の書籍は、廃棄ではなく、寄付をすることで少しでも社会や環境に貢献したいと考えています。

不動産投資の「楽待」概要

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数No.1(*1)の不動産投資プラットフォームです。全国4900社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。YouTube「楽待 RAKUMACHI」はチャンネル登録者数105万人、総再生回数は4億4100万回にのぼります。（2025年1月時点）

不動産業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン通話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。更に2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。登録することで、業界初(*2)の独自機能「賃貸経営マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。

「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

楽待

社名：楽待株式会社

URL：<https://rakumachi.co.jp/>

上場市場：東証スタンダード（証券コード：6037）

本社：東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

楽待株式会社 広報担当 尾藤

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6833-9438

E-mail：rakumachi@rakumachi.co.jp

*1 『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2022年12月）

『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2022年12月）

『利用者数 No.1』：自社調べ（2022年12月）

*2 自社調べ（2023年4月）

